

シンポジウム



不登校当事者の実態とニーズを把握し、

官民共創でつくる効果的な施策とは

「不登校のこどもの育ちと学びを支える
当事者実態ニーズ全国調査」報告会

2024年
1/11木
13:30~16:30

第1部

13:30~ 開会・主催者挨拶

調査報告及び基調講演

13:35~

- 「不登校のこどもと保護者 実態ニーズ調査」報告
報告者：NPO法人多様な学びプロジェクト代表理事 生駒 知里
コメント：国立大学法人東京学芸大学教授 加瀬 進 氏
- 基調講演
『COCOLO プラン』に沿った不登校支援策について
文部科学省初等中等教育局児童生徒課 課長補佐 大野 照子 氏

第2部

先進的な自治体事例の紹介

14:40~

- 神奈川県川崎市
公設民営型フリースクール「フリースペースえん」について
- 長野県
信州型フリースクール認証制度について
- 滋賀県草津市
フリースクール利用児童生徒支援補助金等について

第3部

パネルディスカッション

15:10~

不登校支援の難しさや課題について、施策をつくる人、実行する人、こどもや保護者といった当事者、それらを取り巻く民間の居場所運営者、有識者がそれぞれの立場から意見を出す中で、相互の理解を深めます。

また当事者の実態やニーズに添いながら COCOLO プランを現場でどう実践していくか、民間と行政の有効な連携などについても考え合い、ヒントを探ります。

16:20~ 閉会の挨拶

オンライン開催

Zoom ウェビナーによるライブ配信

※アーカイブ配信も予定

定員 先着 600名

参加費 無料

対象

- 自治体・教育委員会・学校関係者
- 不登校のこどもの育ちを支える居場所関係者
- 不登校のこどもを育てる保護者
- 不登校のこどもや経験者
- その他、興味のある方ならどなたでも

お申し込み

オンラインフォームより
お申し込みください。
返信メールにて詳細を
ご連絡いたします。

※申込締切 1月9日（火）
※定員になり次第、締め切り



お申し込みフォーム

お問い合わせ

NPO 法人多様な学びプロジェクト事務局
Email : research_j@tayounamanabi.com

開催趣旨

急増する不登校の子どもと保護者への支援が急務であることは、関係者に広く共有されるようになりました。一方、その手法や順番等において、関係者の相互理解や当事者である不登校の子どもたちへの理解がまだまだ足りていない現状があると考えます。

そこで本シンポジウムでは、NPO 法人多様な学びプロジェクトが2023年10月6日から12月31日に実施の「不登校のこどもの育ちと学びを支える当事者実態ニーズ全国調査」の報告と先進的な事例をもとに、官民双方の関係者が相互理解を深め合い、共通のビジョンマップを描き、自治体・教育委員会・学校現場が効果的な不登校支援施策を打ち出していくためのヒントを探ります。

登壇者

登壇順／敬称略



生駒 知里 いこまちさと

第1部 第3部

NPO 法人多様な学びプロジェクト 代表理事

長男が小1の秋から学校を「辞めた」ことで焦りや不安を感じる日々を過ごし、不登校家庭の心理的・物理的ケアが少ないことを身をもって経験。子ども達が街を居場所・学び場として活動し「不登校」の社会のイメージを変える『多様な学びプロジェクト』を2017年より始める。7児の母。



加瀬 進 かせすすむ

第1部 第3部

国立大学法人東京学芸大学社会科学講座 教授

東京学芸大学こどもの学び困難支援センター長として、貧困・虐待といった背景や不登校という状況から「学び」に困難をきたしているこどもの把握方法や支援のあり方について実践研究を進めている。



大野 照子 おおのてるこ

第1部 第3部

文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導室 課長補佐

平成14年 文部科学省初等中等教育局国際教育課企画調査係／平成20年 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課発達障害支援係／平成28年 独立行政法人教員研修センター総務部総務課長／令和元年 国立大学法人お茶の水女子大学人事労務課長／令和3年 文部科学省～現職



西野 博之 にしの ひろゆき

第2部 第3部

認定 NPO 法人フリースペースたまりば 理事長

認定 NPO 法人フリースペースたまりば理事長。川崎市子ども夢パーク・フリースペースえん他、各事業総合アドバイザー。文部科学省「フリースクール等に関する検討会議」委員などを歴任。



荒井 英治郎 あらい えいじろう

第2部 第3部

国立大学法人信州大学教職支援センター 准教授

専門は、教育学（教育行政学・教育経営学・教育法学）。信州学び円卓会議（長野県県民文化庁民の学び支援課）座長、信州型フリースクール認証制度検討会議（長野県県民文化庁子ども若者局次世代サポート課）座長、不登校児童生徒等の学びの継続支援に関する懇談会（長野県教育委員会心の支援課）座長



北村 大輝 きたむら だいき

第2部 第3部

草津市教育委員会事務局 児童生徒支援課主査

平成23年 草津市立中学校教員
令和4年 現職（生徒指導・教育相談業務を担当）



伊藤 美奈子 いとう みなこ

第3部

国立大学法人奈良女子大学研究院 生活環境科学系 教授

大学で国文学を学んだ後、高校現場で国語科教諭として勤務。その後、大学院に戻り（臨床心理学専攻）、博士（教育学）を取得。現在は、大学にて心理士養成に携わりつつ、スクールカウンセラーとしても勤務。文部科学省や子ども家庭庁等の不登校やいじめ、孤独・孤立に関する委員を多数歴任。



色葉 みと いろは みと

第3部

通信制高校生

3年間の海外生活の後、小学4年から中学3年まで学校に行かずに過ごし、通信制高校に進学。現在は、学校の課題をこなしつつ、アルバイトや作曲（DTM）、動画制作、グラフィックデザイン制作、小説を書くなど、興味の幅を広げている。



鈴村 結 すずむら ゆい

第3部

公務員／不登校経験者／不登校児童生徒の保護者

小学4年生から不登校となり、中学校もほぼ通わず公立の通信制高校へ入学。高校卒業の年に公務員試験に合格し公務員となる。現在は、夫と共働きで長男（中1）、長女（小5）、次男（小2）を育てており、子どもたちは小学校1年生からホームスクールという学び方を選択し、伸び伸び成長中。



松下 隼司 まつした じゅんじ

第3部

大阪府公立小学校教諭

令和4年度文部科学省優秀教職員表彰受賞
絵本『せんせいって』『ぼく、わたしのトリセツ』／教育書『むずかしい学級の空気をかえる 楽級経営』／小学館『みんなの教育技術』で『松下隼司の笑ってエブリデイ』を連載。Voicy『しくじり先生の「今日の失敗」』パーソナリティー。